



AMERICAN EXPRESS SAFEKEY® 2.0 貴社の事業と顧客をオンライン上の不正から保護。

保護のレベルを強化。

American Express SafeKey 2.0は、当業界の主要な組織が共同開発したグローバルな業界標準であるEMV® 3-D Secureをベースにしています。SafeKeyは、オンライン決済環境が絶えず進化を続ける中、不正を防止し、消費者の要望に合った形で（モバイル デバイスなどを使用して）ショッピングを行えるように設計されています。

加盟店とイシューは、American Express SafeKey 2.0を使用することでさまざまな情報を交換し、豊富なインテリジェンスを取得して、不正を低減することができます。これにより、カード会員は安心してeコマース取引を行えるようになります。追加機能には以下があります：

- ブラウザーでのショッピングに加えて、アプリ、スマートフォン、その他のデバイスを使用したブラウザー以外でのショッピングもサポート
- 加盟店のアプリおよびブラウザーベースの決済画面に直接統合可能
- トークン利用の普及に対応するため、トークンベースの取引をサポートしてセキュリティを強化
- デジタル ウォレットに対するカードのプロビジョニングなど、決済を伴わない本人認証に対応
- 加盟店が本人認証を起動する機能（公共料金、継続的な支払い、郵送、または電話による通信販売などの決済に関する本人認証）
- カード会員の決済フローの改善と利用体験の向上
- PSD2（EUIにおける改正決済サービス指令）に対応

*機能はバージョンにより異なります。

EMV®は、米国およびその他の国における登録商標ですが、一部の国では未登録商標です。EMVはEMVCo.の商標です。

SafeKeyのメリット

改良され、より安全になったオンラインショッピング体験をすべての利用者に



加盟店

シンプルかつ標準化されたアプローチを通じてカード会員の本人認証を行うことで、不正のリスクや購入の中断を最小限に抑制



イシュア

豊富なデータに基づいて、認証を簡素化



カード会員

Card Not Presentの取引およびアカウント認証の潤滑性、利便性、安全性を強化

American Express SafeKey®の比較図表

機能	SafeKey 1.0	SafeKey 2.0	
		SafeKey 2.1 (EMV 2.1.0)	SafeKey 2.2 (EMV 2.2.0)
業界標準の3-D Secureベース	■	■	■
決済時のセキュリティを強化	■	■	■
支払い認証	■	■	■
ブラウザベースの認証	■	■	■
さまざまな認証方式を使用可能（ワンタイムパスコード、リスクベースの意思決定など）	■	■	■
PSD2コンプライアンス対応	■	■	■
円滑な認証を可能にする幅広いデータ要素をサポート	米国および米国の海外領土で使用可能	■	■
アプリベース（アプリ内）ショッピング対応	-	■	■
決済を伴わない本人認証	-	■	■
トークンベース取引	-	■	■
リスクベース認証（追加認証）機能	-	■	■
加盟店が起動する本人認証	-	-	■
分離型認証	-	-	■
PSD2追加インジケータ	-	-	■

注記: 一部の機能については、追加認証が必要になる場合があります。